

外交防衛委員会

委員一覧 (21名)

委員長	渡邊 美樹 (自民)	佐藤 正久 (自民)	小西 洋之 (立憲)
理事	宇都 隆史 (自民)	武見 敬三 (自民)	白 眞勲 (立憲)
理事	中西 哲 (自民)	中曽根 弘文 (自民)	福山 哲郎 (立憲)
理事	三宅 伸吾 (自民)	堀井 巖 (自民)	井上 哲士 (共産)
理事	高瀬 弘美 (公明)	山田 宏 (自民)	浅田 均 (維新)
理事	大野 元裕 (民主)	山本 一太 (自民)	アントニオ猪木 (無ク)
	猪口 邦子 (自民)	熊野 正士 (公明)	伊波 洋一 (沖縄)

(30. 11. 13 現在)

(1) 審議概観

第197回国会において本委員会に付託された案件は、条約3件及び内閣提出法律案1件の合計4件であり、そのいずれも承認又は可決した。

また、本委員会付託の請願6種類77件は、いずれも保留とした。

〔条約及び法律案の審査〕

EUとの経済連携の強化 経済上の連携に関する日本国と欧州連合との間の協定は、我が国とEUとの間において、物品及びサービスの貿易の自由化及び円滑化を進め、投資の機会を増大させるとともに、電子商取引、政府調達、競争政策、知的財産、中小企業等の幅広い分野での枠組みを構築するものである。委員会においては、自由貿易の推進と本協定の締結の意義、EUへの農林水産品の輸出促進に向けた取組、EU産チーズの種類別の関税措置の根拠、欧州委員会による乳製品等の対日輸出に関する試算の検証の必要性、英国のEU離脱による影響等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって承認された。

EUとの戦略的パートナーシップの強化

日本国と欧州連合及び欧州連合構成国との間の戦略的パートナーシップ協定は、我が国とEU及びEU構成国との間で、幅広い分野における協力を促進し、戦略的パートナーシップを強化するための枠組みを構築するものである。委員会においては、本協定に基づく具体的な協力の在り方等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって承認された。

社会保障分野の二国間協力 社会保障に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の協定は、我が国と中華人民共和国との間で、人的交流に伴って生ずる年金制度への二重加入の問題を解決するため、年金制度の適用の調整を行うこと等を定めるものである。委員会においては、社会保障協定の締結方針と本協定の意義、本協定に保険加入期間の通算規定が設けられていない理由、協定が年金制度のみを対象としている理由等について質疑が行われ、全会一致をもって承認された。

防衛省職員の俸給月額等の改定 防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案は、一般職の国家公務員の例に準じて、防衛省職員の俸給月額等を

改定する措置を講じようとするものである。委員会においては、防衛医科大学校出身の医官の離職防止に向けた取組、自衛隊の精強性の確保、防衛大学の応募と卒業後の任官の状況等について質疑が行われ、多数をもって可決された。

〔国政調査〕

11月20日、砲弾の着弾事故について岩屋防衛大臣から報告を聴取した後、同件、北朝鮮情勢、北方領土問題、普天間飛行

場移設問題、普天間飛行場の危険性の除去、南シナ海をめぐる問題等について質疑を行った。

11月27日、旧朝鮮半島出身労働者問題に係る韓国大法院判決、慰安婦問題、イージス・アショアの配備、北方領土問題、国連総会における核兵器廃絶決議案、自律型致死兵器システム、シリア情勢、米軍再編に係る訓練移転等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成30年11月13日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 外交、防衛等に関する調査を行うことを決定した。

○平成30年11月20日(火) (第2回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 砲弾の着弾事故に関する件について岩屋防衛大臣から報告を聴いた後、同件、北朝鮮情勢に関する件、北方領土問題に関する件、普天間飛行場移設問題に関する件、普天間飛行場の危険性の除去に関する件、南シナ海をめぐる問題に関する件等について岩屋防衛大臣、河野外務大臣、大口厚生労働副大臣、鈴木外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

白眞勲君(立憲)、大野元裕君(民主)、井上哲士君(共産)、浅田均君(維新)、アントニオ猪木君(無ク)、伊波洋一君(沖縄)、中西哲君(自民)、高瀬弘美君(公明)

- 防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第10号)(衆議院送付)について岩屋防衛大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成30年11月22日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。

- 防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第10号)(衆議院送付)について河野外務大臣、岩屋防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

白眞勲君(立憲)、大野元裕君(民主)、井上哲士君(共産)、浅田均君(維新)、アントニオ猪木君(無ク)、伊波洋一君(沖縄)(閣法第10号)

賛成会派 自民、公明、立憲、民主、共産、無ク、沖縄

反対会派 維新

○平成30年11月27日(火) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 旧朝鮮半島出身労働者問題に係る韓国大法院判決に関する件、慰安婦問題に関する件、イージス・アショアの配備に関する件、北方領土問題に関する件、国連総会における核兵器廃絶決議案に関する件、自律型致死兵器システムに関する件、シリア情勢に関する件、米軍再編に係る訓練移転に関する件等について河野外務大臣、岩屋防衛大臣、大口厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

三宅伸吾君(自民)、高瀬弘美君(公明)、白眞勲君(立憲)、大野元裕君(民主)、井上哲士君(共産)、浅田均君(維新)、アン

トニオ猪木君（無ク）、伊波洋一君（沖縄）

- 社会保障に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第3号）（衆議院送付）について河野外務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成30年11月29日（木）（第5回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 社会保障に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第3号）（衆議院送付）について河野外務大臣、岩屋防衛大臣、鈴木財務副大臣、門山法務大臣政務官、白須賀内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、承認すべきものと議決した。

〔質疑者〕

高瀬弘美君（公明）、福山哲郎君（立憲）、大野元裕君（民主）、井上哲士君（共産）、浅田均君（維新）、アントニオ猪木君（無ク）、伊波洋一君（沖縄）

（閣条第3号）

賛成会派 自民、公明、立憲、民主、共産、
維新、無ク、沖縄

反対会派 なし

○平成30年12月4日（火）（第6回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 経済上の連携に関する日本国と欧州連合との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第1号）（衆議院送付）

日本国と欧州連合及び欧州連合構成国との間の戦略的パートナーシップ協定の締結について承認を求めるの件（閣条第2号）（衆議院送付）

以上両件について河野外務大臣から趣旨説明を聴いた後、同大臣、岩屋防衛大臣、小里農林水産副大臣、新谷厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

猪口邦子君（自民）、白眞勲君（立憲）、大野元裕君（民主）、井上哲士君（共産）、浅田均君（維新）、アントニオ猪木君（無ク）、伊波洋一君（沖縄）

○平成30年12月6日（木）（第7回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 経済上の連携に関する日本国と欧州連合との間の協定の締結について承認を求めるの件（閣条第1号）（衆議院送付）

日本国と欧州連合及び欧州連合構成国との間の戦略的パートナーシップ協定の締結について承認を求めるの件（閣条第2号）（衆議院送付）

以上両件について河野外務大臣、岩屋防衛大臣、小里農林水産副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも承認すべきものと議決した。

〔質疑者〕

高瀬弘美君（公明）、白眞勲君（立憲）、大野元裕君（民主）、井上哲士君（共産）、浅田均君（維新）、アントニオ猪木君（無ク）、伊波洋一君（沖縄）

（閣条第1号）

賛成会派 自民、公明、維新、無ク

反対会派 立憲、民主、共産、沖縄

（閣条第2号）

賛成会派 自民、公明、立憲、民主、維新、
無ク、沖縄

反対会派 共産

○平成30年12月10日（月）（第8回）

- 請願第94号外76件を審査した。
- 外交、防衛等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。